



学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和7年1月6日

横浜市立三ツ境小学校

三ツ境小だより 1月号



「さらに前へ」

校長 飯田 雅人

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。



今年、十二支で言えば「巳年」。十二支の6番目の干支です。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表していて、最初の子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年には種の中で育つがまだ伸びることができない。寅年は、春が来て根や茎が成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。そして6番目の巳年は、脱皮し、強く成長する蛇のイメージから、「再生と変化」を意味し、困難があっても、しなやかに伸びる草木を表しています。2025年は、「十二支」（じゅうにし）と「十干」（じっかん）を組み合わせると「乙巳（きのと・み）」となり、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表した年になるということのようです。

さて学校では、令和6年度も残りあと3か月余り……。あっという間に過ぎていきます。この3か月は、一年のまとめの時期であると同時に、進級への準備をする時期でもあります。だからこそ、基本的なことがきちんとできているかを、あらためて自分自身でしっかりと見直し、「当たり前前（あたりのまえ）のことが当たり前前（あたりのまえ）にできるようになってほしい」と願っています。各ご家庭でも、早寝早起き、睡眠や食事をしっかりととるなどの基本的な習慣をしっかりと身に付け、その上で、豊かな心を育んだり、様々な知識や力を身に付けたりして、学年のまとめや進級への心の準備をしていってほしいと思います。

本年も本校の教育目標、「つながる 続ける 創り出す」の実現をめざして教職員一同、今一度基本に立ち返って、子どもたちの指導にあたっていきます。そして努力を重ねながら「さらに前へ」を目指していきたいと思います。保護者、地域の皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。